平成２８年度事業計画書

（　）内は前年度予算

【公益目的事業 1】長寿科学研究等支援事業

長寿科学に携わる研究者に対して、その研究費などを支援する事業

（１）長寿科学総合研究推進事業　〔厚生労働省補助金〕 12,268 千円
(12,780 千円)

高齢者に特徴的な疾病・病態等に着目し、それらの予防、早期診断及び治療技術の確立・向上に向けた長寿科学総合研究を支援する厚生労働科学研究推進事業として、次の事業を実施する。

①外国人研究者招へい事業	１人
②外国への日本人研究者派遣事業	１人
③若手研究者育成活用事業	１人
④国際共同研究事業	１課題
⑤研究成果等普及啓発事業	
・研究者向け発表会	１会場
・一般向け発表会	１会場
・パンフレット作成	

（２）認知症対策総合研究推進事業　〔厚生労働省補助金〕 11,732 千円
(12,220 千円)

本格的な高齢社会の到来により認知症患者数は増加の一途をたどっており、医療・福祉の両分野が連携した総合的な対策を進める上で、認知症者の「実態把握」「予防」「診断」「治療」「ケア」の観点に立った認知症対策総合研究を支援する厚生労働科学研究推進事業として、次の事業を実施する。

①外国人研究者招へい事業	１人
②外国への日本人研究者派遣事業	１人
③若手研究者育成活用事業	１人
④国際共同研究事業	１課題
⑤研究成果等普及啓発事業	
・研究者向け発表会	１会場
・一般向け発表会	１会場
・パンフレット作成	

（３）長寿科学研究者支援事業　　〔自主財源〕　32,500 千円
(30,314千円)

長寿科学研究に携わる若手研究者を対象に、その研究活動を幅広く財政的な支援を実施することにより、研究者の育成と長寿科学の振興を図る。

支援計画　　継続９人　　新規５人

支援限度額　　３年６００万円

（４）長寿科学関連国際学会派遣事業　　〔自主財源〕　3,500 千円
(3,224 千円)

長寿科学研究に携わり優れた研究成果をあげた若手研究者を、海外で開催される関連国際学会に研究成果発表のため派遣し、長寿科学研究の国際協力・国際交流を図るとともに、研究者育成に寄与する。

派遣者数　　１２人

支援限度額　　４０万円

（５）若手研究者表彰事業　　〔自主財源〕　3,000 千円
(2,626 千円)

長寿科学研究に携わった若手研究者を対象に研究成果を評価し、特に優れた研究者を「長寿科学賞」として表彰し正賞楯及び副賞を贈呈する。なお、副賞には研究費を交付する。

表彰名　　長寿科学賞　２名

【公益目的事業 2】情報提供事業

長寿科学研究の成果や健康長寿に関する情報を広く国民に提供する事業

（１）出版事業（業績集の発行）　〔自主財源〕　7,786 千円
(7,786 千円)

長寿科学研究の学術的研究成果の中で、社会のニーズにあったテーマを定め、医療従事者向けに編集した研究マニュアルを業績集として発行し、関係機関に無償で配布し、その活用を図ることにより研究成果の普及啓発を図る。

発行回数　年１回
配布部数　5,000 部
全国の自治体、病院、医学系大学などへ無償配布

（２）出版事業（機関誌の発行）　〔自主財源〕　19,935 千円
(18,379 千円)

本財団の機関誌「Aging & Health」を発行し、関係機関に無償で配布し、健康長寿情報や長寿科学研究成果のより分かり易い広報を行う。

発行回数　４回（春、夏、秋、冬）
配布部数　各号 8,000 部
全国の自治体、病院、医学系大学、地域包括支援センター、老健施設などに無償配布

（３）健康長寿ネット事業　〔自主財源〕23,387 千円
(18,663 千円)

本財団のホームページ「健康長寿ネット」により、老化予防や健康づくり疾病、介護予防など、健康長寿に関する情報をインターネットを通じて広く国民に提供する。

また、２８年１０月公開を目標にホームページのリニューアルを行い、スマートフォンなどのモバイルの閲覧に対応し、高齢者や障害者など全ての利用者に使いやすいホームページに改善する。

情報分野：　長寿・医療・介護、介護予防のための生活機能チェック
公開コンテンツ数：約 550 項目
年間アクセス件数：約 3,100,000 件

（４）長寿たすけ愛講演会開催事業　　〔自主財源〕　9,486 千円
（5,409 千円）

高齢社会の中で、明るく活力ある長寿社会の構築を参加者と共に考え、実践するきっかけづくりの場として、「勉強・運動・笑い」をコンセプトとした講演会を開催する。

開催数　　４か所
開催場所　　青森県青森市（10/18）、岐阜県多治見市（11/12）
京都府京都市（10/14）、兵庫県神戸市（2/21）

（５）長寿科学研究普及事業　　〔自主財源〕　4,500 千円
（4,500 千円）

国立長寿医療研究センターとの連携により、毎年テーマを定め、長寿科学研究に関するシンポジウムを開催し、研究成果などの普及啓発を図る。

【公益目的事業 3】　長寿科学に関する調査研究事業

平成２７年度をもって終了したアテンプト研究事業に代わる調査研究事業を検討していく。